

1 単元名 おやつをつくろう

2 目標

- 収穫したとうもろこしや身近な材料を使って、おやつ作りをしようとする。 【関心】
- 見通しをもって計画や準備を行い、みんなで力を合わせて取り組もうとする。 【意欲】
- 自分の役割に責任を持ち、友達と協力しながら活動することができる。 【態度】
- 調べたことや考えたこと、感じたことを文章や絵で表現したり、話したりすることができる。 【表現】
- 調べたり作ったりする活動を通して、生活に必要な知識の理解を深めることや道具や用具の安全で正しい使い方を理解することができる。 【理解・技能】

3 単元について

(1) 教材観

児童たちは、トウモロコシを収穫してポップコーンを作ることを楽しみにしている。これまでに収穫して調理した野菜とは違いポップコーンはおやつになる。収穫したトウモロコシを生かしながらおやつ作りをすることで活動に積極的に関わられるので、収穫の喜びを味わったり、成就感を味わったりできると考える。さらに、おやつの材料をそろえるために買い物が必要になる。実際に買い物をすることでお金の価値や人との関わりが体験できる。

おやつ作りを通して社会性の育成、資料から読みとる力や語彙力の向上、作業の技能の習得などを図ることができると考える。学習のまとめで感想を発表したり、文章や絵などにかいたりすることで、自分の思いや体験を言葉で表現する力の育成も図ることができると考える。楽しく自然や生活に関わり、各教科と関連させながら生活に必要な知識や技能の習得と定着を図ることができると考える。

○ 系統について

これまでに、野菜の栽培や七夕祭り、カレー作り、シャボン玉遊びなどを合同で行ってきている。児童たちは互いに話しかけたり、手伝ったりして関わりをもつことができるようになった。収穫した野菜の数を数えたり、用具を正しく使って調理したり、液体の量を量ったりする活動を行ってきた。野菜の名前や調理の仕方などを調べる学習も行った。学習や活動を振り返って、感想を書いたり、発表したりすることも続けてきた。児童たちは、少しずつ発表することに慣れてきた。これらの学習や活動は、国語、算数、理科、家庭科などと関連させ、児童の実態に合わせて単元構成をしている。本単元ではこれまでの学習や活動を生かして、自分の力で活動できるようにしたい。

(2) 児童の実態 (1組7人, 2組7人 計14人)

本校の知的障害特別支援学級は、本年度より2学級になった。障害による個人差が大きい。小集団の学習でも集中できなかつたり、学習の定着に時間がかかっていたりしている。昨年度に同じ学級で一緒に学習した児童たちも2つの学級に分かれたり、新しい友達が増えたりした。ワクワクタイムや休み時間には仲良く遊んでいる。

| 学級 | 学年 |   | 実 態   |
|----|----|---|---|
| 1組 | 5年 | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に意欲的に取り組む。ルールを守って活動に参加しようとするが、話をよく聞かずに行動してしまうことがある。</li> <li>・計量カップ、物差しではかることはできるが、細かい目盛りには注意することは苦手である。</li> </ul>                                       |
|    |    | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に活動に取り組む。話や説明を聞くことはできるが、聞いたことを行動に移すことは難しい。作業が雑である。</li> <li>・計量カップや物差しが目盛りは読めるが、細かい目盛りを読むのは苦手である。</li> </ul>   |
|    | 4年 | C | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力して活動することができる。友達を頼りにして活動に参加することが多い。</li> <li>・計量カップや物差しが目盛りは読めるが、細かい目盛りを読むことはできる。</li> </ul>  |
|    |    | D | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解は早いですが、手順や方法をよく聞いたり、確認したりせずに行動してしまうことが多い。</li> <li>・計量カップや物差しではかることはできる。</li> </ul>   |
|    | 3年 | E | <ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞いて、内容や方法などを理解できるが、一つ一つ確認しないと行動に移れないことが多い。</li> <li>・計量カップや物差しが目盛りは読めるが、単位の大きさの理解が不十分である。</li> </ul>  |
|    | 2年 | F | <ul style="list-style-type: none"> <li>・話はよく聞くことができる。明るく活発である。自分の意見や思いを表現することが苦手である。ひらがな、カタカナの読み書きが苦手である。3桁の数は正しく読める。</li> <li>・指示されたとおりに作業をすることができる。細かい目盛りを読むことは慣れていない。物差しが目盛りはだいたい読める。</li> </ul> |

|   |    |    |  |  |
|---|----|----|--|--|
| 組 | 1年 | G  | <ul style="list-style-type: none"> <li>発語が無く、理解言語も少ないが、自分でできることが増えてきている。簡単な指示は理解できる。挨拶の仕方や生活の中で必要な技能・行動はやり方を示しながら練習することで覚えられる。動く物、キラキラしている物が大好きである。</li> <li>数字や文字を読むことはできないが、シールなどの目印は分かる。</li> </ul> |  |
|   | 2  | 5年 | H  | <ul style="list-style-type: none"> <li>指示を聞いて活動や作業を始められ、興味をもって活動に取り組むことができる。</li> <li>計量カップの目盛りを読んで、水を量ることができる。</li> </ul>       |
|   |    | 4年 | I  | <ul style="list-style-type: none"> <li>おしゃべりが多いが、低学年児童によく声をかけて、一緒に活動することができる。</li> <li>計量カップの目盛りを読むことや、物差しではかることができる。</li> </ul> |
|   | J  |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>集中して学習や活動に取り組める。</li> <li>指示を聞いて自分のすることが分かり、活動できる。</li> <li>計量カップや物差しの目盛りを読むことができる。</li> </ul>  |  |
|   | 3年 | K  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習や作業を面倒がり、文句を言ってやらないことが多い。</li> <li>1年生の児童の様子を見て、手助けすることができる。</li> <li>計量カップの何ばい分ということがわかる。</li> </ul>   |  |
|   | 2年 | L  | <ul style="list-style-type: none"> <li>会話ができる。ひらがなの読み書きは円滑にはできない。</li> <li>手足の微細な動きのコントロールができないため、細かな作業は苦手である。計量カップの中身を移し変えることは困難である。</li> </ul>   |  |
|   |    | M  | <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の遅れはない。作業を面倒がることはあるが、興味をもてば取り組むことができる。</li> <li>計量カップの何ばい分ということがわかる。</li> </ul>   |  |
|   | 1年 | N  | <ul style="list-style-type: none"> <li>3才程度の能力である。幼児語を使い、作業能力も低い。</li> <li>コップを持つことができる。計量カップの中身を移し変えることは困難である。</li> </ul>   |  |

### (3) 指導観

本単元はティームティーチングで学習を計画し個に応じた支援を細かく行い、一人一人が充実感を味わえるようにしたい。これまでの学習を生かして積極的に関わられるように活動の見通しをもたせ、一人一人の役割を明確にして、活動できる場を設定したい。また、自分の思いを言葉でも表現させたい。

準備計画の段階では、児童の思いを生かして積極的に作って楽しめるように、みんなで作ってみたいおやつを話し合っ選ぶことから始めていきたい。収穫したトウモロコシはみんなで一つ一つ取ることを経験させる。おやつの作り方を調べることで、材料の分量を正しく計量することも取り入れる。文章から必要なことを読み取る力や用具の扱い方、作業技能の向上、清潔や安全に関する知識や態度も育てていきたいと考える。

実践の段階では、自分の役割に責任をもち、友達と協力できるように聴覚的・視覚的支援を行い充実感を味わわせたい。

まとめの段階では、活動を振り返り、自分でできるようになったことや楽しかったこと、収穫の思いや感謝の気持ちを言葉として表現できるようにしたい。

これらの活動を通して得た知識や技能、態度は生活の中で生かしていけると考える。

#### ○「集中して聞き、考えを深め、伝える力」の育成のための手だて

話を聞くときのルールを確認しながら、具体物や視覚的資料を提示したり、個別的な支援を行ったりすることで集中して話を聞けるようにしていく。資料から必要なことを読み取ったり、分からないことを聞いたりする活動も取り入れる。学習のまとめで感想を発表したり、自分の思いや体験を文章や絵などにかいたりすることで言葉で伝える力を育てていきたい。

## 4 学習計画 (8時間扱い)

第1次 おやつ作りの計画を立てよう . . . . . 1時間

第2次 おやつ作りの準備をしよう . . . . . 3時間  
 トウモロコシの収穫  
 おやつの作り方調べ  
 ざいりょうの買い物

第3次 おやつを作ろう . . . . . 3時間  
 材料の準備 . . . . . 1時間 (本時)  
 おやつ作り . . . . . 2時間

第4次 学習のまとめと反省をしよう . . . . . 1時間

5 本時の学習

(1) 目標

- 自分のめあてや役割が分かり、友達と協力して、レシピ通りに材料の重さを量って用意することができる。
- 活動を振り返って、自分の感想を発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。

個別目標

| 児 童            | 個別目標   |
|----------------|--|
| A C D<br>H I J | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レシピを見ながら、協力して材料の重さを量ることができる。</li> <li>・ 自分の感想を発表することができる。</li> </ul>                |
| B E K          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はかりの使い方を確認しながら、協力して材料の重さを量ることができる。</li> <li>・ 自分の感想を発表することができる。</li> </ul>          |
| F L M          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はかりの目印や数字を確認しながら、協力して材料の重さを量ることができる。</li> <li>・ 支援を受けて、自分の感想を発表することができる。</li> </ul> |
| G N            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のめあてを守り、支援を受けながら、材料の重さを量ることができる。</li> <li>・ 支援を受けて、友達の発表を聞くことができる。</li> </ul>     |

(2) 準備・資料

おやつ作りのレシピ、はかり、コーン、小麦粉、砂糖、透明カップ、材料名・用具名カード

(3) 展開

| 学習活動・内容  | 教師の支援<br>(○は「集中して聞き、考えを深め、伝える力」の育成のための支援 ◎は評価)   |  |
|--|--|--|
|  | T 1  | T 2  |
| 1 はじめの挨拶をする。<br>2 学習課題をつかむ。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         おやつ材料の準備をしよう<br/>                         ・ポップコーン・クッキー                     </div> ・めあて 協力 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体への指示を行う。</li> <li>・ 日直の号令に合わせて、正しい姿勢で挨拶をして、授業の開始を意識させる。</li> <li>○何をすることが分かるように、活動の流れを掲示する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別支援をする。</li> <li>○正しい姿勢ができるよう声をかけて促したり、T 1の方に注目して話が聞けるよう言葉をかける。</li> <li>・ 支援員AはGの個別支援を行う。</li> <li>・ 支援員BはNの個別支援を中心に行う。</li> <li>○用具を示したり、扱い方の手本を示す。</li> </ul> |
| 3 おやつ材料の確認をする。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料とその重さを一つずつ確認していく。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○物と言葉が一致するように材料名、用具名を書いたカードを置く。</li> <li>・ クッキーのグループの支援をする。</li> </ul>  |
| 4 グループに分かれて材料の重さを量る。<br><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>ポップコーン</b><br/>                         コーン 25g<br/>                         1人分を全員がはかる。                     </div>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポップコーンのグループの支援をする。</li> <li>・ 両方の材料の重さを量ることができるように、全員が量り終わったら、グループを交代する。</li> <li>・ はかりの使い方を確認する。</li> <li>・ できるだけ自分たちで作業を進められるよう見守るが、難しいときには補助する。</li> <li>・ 分量を量るときには、目盛りをよく確認するように声をかけ、正しく計測できるようにする。</li> <li>・ 材料は少しずつ入れていくように助言する。</li> </ul> |  |

### クッキー

小麦粉 160g  
さとう 60g

小麦粉とさとうに分かれて、3人分を量る。

- 5 本時のまとめをする。
  - ・感想を発表する。
  - ・かたづけをする。
- 6 次時の学習を知る。
- 7 終わりの挨拶をする。

- ・友達の活動をよく見ているように声をかける。
- ・お互いに協力してできるように声をかける。
- ・めもりが読みやすいように数字を書いたり、シールを貼って目印を付けたりしておく。
- ・1, 2年の児童が量るときには、上学年の児童が手伝うように声をかける。

◎友達と協力し、材料の重さを量って用意することができたか。(観察)

- ・一人一人の感想をきちんと聞き頑張ったこと、よかったこと、気付いたことなどを誉めて認める。
- ・きちんと発表できるよう確認する。

◎活動を振り返って、感想を発表をしたり、聞いたりすることができたか。(観察)

- ・次時は、ポップコーンやクッキーを実際に作ることを確認して、意欲を喚起する。